

調べて結果を調査

ものごとを理解するなど幼児にとつて必要な諸経験を学びます。ですから絵本の性格によつて幼児の諸経験が左右され、その生長発達に影響されるといつても過言ではありません。即ち絵本の内容が充実して居つて、発展性を持つて居れば幼児の経験も豊富になり、その経験を発展させてゆくことができますしよ

☆

幼児にとつて絵本は大切なものであることは申すまでもありません。幼児はこれによつていろいろの生活経験を得ます。絵画に対する興味を持ち、想像の世界に遊び、創作の意欲を助長することは勿論読書のレディネス(準備)となり、絵を通して

うし、それが単に所謂興味本位のものであつたならば、手にした時は喜ぶでしょうが、豊かな経験を持たせ、その得た諸経験を発展させてゆくことは望まれないでしょう。けれども一方幼児の教育は幼児の興味を通して指導されなければならない事は云うまでもありません。ですから教育的価値があると考えられても、幼児が全然興味を持たないものは教材として望ましいものではなく、また教育的価値をさうみ出すことも出来ないものであるといわなければなりません。このことから幼稚園の先生方や、保育所の保母さん達や、家庭のおかあさん方がどんな絵本をよい絵本として選ぶかということが幼児の教育において非常に大切な問題となります。けれどもよい絵本を選ぶことは仲々困難であります。例えば、自分達がよい絵本であると考えたものが果して幼児に取つてよいものであるかどうか、興味があるだろうと予想した絵を幼児も同様に興味を持つかどうかということは常にそれに関心を持ち、研究して居らねばわかりません。

☆

次にどのような絵本を出版するかというこ

とは出版社が決定することであり、私達はただ出版されたものうちからよい絵本を選定するに過ぎないともいえましよう。けれども一方、出版にあつてはそれが社会の要求にあつたものでなければ企業もなりたらず、成功もしないと云うことができません。このことから幼稚園の先生方や保育所の保母さん、家庭のおかあさん方はどのような絵本が望ましい絵本であるか、どういふ絵本を必要として居るかということを出版社に伝え、一方出版社はそのような要求を常に知つてそれにそつたものを出版する必要があるといえましよう。需要の側は其の意向を供給の側である出版社に伝え出版社はその需要者の要求を満たしてはじめて双方とも満足する結果に到達することができましよう。そしてこのことは現在日本で幼稚園保育所をその対象として居る絵本にあつて特に必要なことだと思われます。

☆

以上の様なことを考えて簡

千葉大学附属幼稚園主事

孝 内 宮

単な絵本の調査をやつて見ました。このうち後者についての調査は相当具体的に調査して見ましたが、発表を遠慮した方がよいと考えられる点も多々ありますので、此処では発表してさしつかえないものだけに限ることとし、前者に重点を置いて、それと連関づけてまとめて見ました。従つて此の発表は一貫性を欠き、要点がばやけてしまいました。計画もつさんでありますし、いろ／＼の事情から準備もよく整いませんで不備の点も多々あると思ひますので、諸先生方の御指導を御願致します。

一、幼稚園での絵本の利用法と、

よい絵本についての調査

先ず幼稚園の教師がどのように絵本を利用して居り、どのような絵本がよいと考えて居るかということを中心の方法で調査して見ました。

(一) 質問紙法により、免許法認定講習に出席した千葉県内の幼稚園の先生四五名(一八校)の人々に答えてもらいました。

(二) 直接に調査目的や、各項目の意味、記入の方法などについて説明して間違のない

ようにしました。

(三) 此処でいう絵本とは、現在各幼稚園で幼児に一律に持たせ或いは推せんして居る絵本の意味に限定しました。

(一) あなたはどのように絵本を利用して見ますか

これは幼稚園で幼児に持たせている絵本の

第一表

利 用 法	一 九 才 以 下		二 〇 才 一		三 〇 才 一		四 〇 才 以 上		計
	教諭	助教諭	教諭	助教諭	教諭	助教諭	教諭	助教諭	
A 主として家庭で利用させる			一	三		一			五
B 主として教材として利用する			二						四
C (A)と(B)を同等の比重で併用している	一		四	一〇	五		二		二二
									二二
									三一

解答は四五名中三一名で、解答のない者の大部分は幼稚園で一律に絵本を持たせて居る人々でありました。

(C) の併用が圧倒的に多いので理由を調査して見ましたら、此の中には絵本が来るとすぐに家に持たせて帰すが、幼稚園で若干冊備えて置いて、それを教材として利用するようになつて居るけれども、はつきりした指導

利用法に対する質問で

(A) 主として家庭で利用させる。

(B) 主として教材として利用する。

(C) (A)と(B)とを同等の比重で併用している。

の三項について聞いて見ました。その結果は第一表の通りであります。

計画の中に取り入れて利用して居らない人々が入つて居るためこのように多くなつて居るのであるということがわかりました。

(A)と(B)とは殆んど同数で、(A)は殆んど助教諭であり、(B)は全部教諭である点も注意すべきでしょう。

(二) どのような絵本を必要としていますか これは二つの対しよ的、又は反対の項目

を対にしてならば、その何れか一方を選ぶ方法によつて、必要としている絵本のすがたをとらえて見ました。問は五問あつて。

第一問、「幼児に興味のあるもの」と「教材として役立つもの」——興味に重点を置くか、教育的価値に重点を置くか——

第二問、「値段のやすいもの」と「高くてもきれいなもの」——費用の点——

第三問、「美的価値のあるもの」と「子どもの心理をとらえていけばよい」——美的情操の面——

第四問、「簡単な物語り(絵物語り)を含んでいた方がよい」と「含まなくともよい」——より広い経験——

第五問、「しつけの面を含んだもの」と「含まなくともよい」——しつけ——

の五つを挙げ、二者択一法によつて此方の意図に対してはつきりした解答を求め、現在幼稚園、保育所を対象してと出版されている絵本で問題になりそうな事柄について意見を求めて見ました。其の結果は第二表の通りになりました。

第二表

問	必要條件		1		2		3		4		5	
	教諭	助諭	教諭	助諭	教諭	助諭	教諭	助諭	教諭	助諭	教諭	助諭
1	1	3	3	2	3	1	3	3	2	2	3	1
2	1	1	1	2	2	1	2	2	1	1	1	1
3	1	1	3	6	6	7	7	9	2	2	2	2
4	1	1	2	7	7	7	7	2	1	1	1	1
5	1	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	37	37	14	24	24	24	24	24	14	14	14	14

☆ 此の調査の主眼は教育的価値に対する態度と云うことで一貫されているにも拘らず、解答の結果は一見矛盾して表れて居ります。幼児教育の特質から来て居ると考えられますが、ともかく一つの注意すべき点であり、次に第一問の「幼児に興味のあるもの」

「教材として役立つもの」と第三問の「美的価値のあるもの」と「子供の心理をとらえていけばよい」とは似たようなものであるにもかかわらず其の解答は、第一問は三七対七、第三問は二四対二〇と大分異つた結果が出て居ります。第三問は解答が大体半数に分れて居りますので此処ではしばらくおき、第一問

について私見をのべて見たいと思います。

「幼児に興味のあるもの」と「教材として役立つもの」を分析しますと、幼児に興味のあるものは同時に教材として役立つ、反対に教材として役立つものは同時に幼児に興味があるものであると、幼児の特殊性から考えられましよう。けれどもまた幼児に興味のあるものは必ずしも教材として役立つ、教材として役立つもの必ずしも幼児に興味のあるものとはならないでしょう。此処で問われているのは後者の意味に於いての興味が中心か、教育的価値に重点を置いて考えるかと云うことなのであります。従つて、此処に表れた三七対七と云う数字の解釈は、「教材」として役立つものとの対比で表わされている「興味」はどのような意味のものであると考えられたか、幼児の「教材」は「興味」を度外視しては教材となり得ないと云うことが考えられたか、興味ということばが十分分析されて理解されて居つたかどうか、などの諸点を考え合せなければならぬと思います。

(三)最も望ましい繪本の條件を三つ擧げて下さい。

これは前の(二)の調査と異つて、自由に

繪本として最も望ましい要素を問うて見ました。

その結果は第三表の様になりました。

第三表

位 順	條 件	員 数
1	美的価値、色彩の鮮かなもの	三四
2	幼児に興味のあるもの	二三
3	生活指導を含むもの	一二
4	子供の心理をとらえたもの	一一
5	幼児に興味あり且つ教材として入れられるもの	九
6	簡単な物語を含んだもの	五
6	製本のていねいで長持ちするもの	五
8	生活に根ざしたもの	四
8	理解しやすいもの	四
8	実生活に根ざしつゝも豊かな夢を持つたもの	四
8	内容に年令差をつける	四

※されます。なんとすれば、色彩の鮮かなものは幼児の注意を引き、興味をとらえるものであると考えられますので、此処に表れた結果の1・2・4共に同一意味。即ち興味を意味して居るとも考えられるからであります。

二、教師がよいと考えた繪本は 幼児も好むだろうか

教師がよい繪本であると考えた繪本は、幼児に取つて好きな繪本であるかどうかという事は、幼児の教育上大切な問題であります

「美的価値があり、色彩の鮮かなもの」が三四で第一位、「幼児に興味のあるもの」が二三で第二位で、此の二つが他の条件をはるかに引離して多数の票を集めて居ります。

第三位は「生活指導を含むもの」の一二、第四位は「子供の心理をとらえたもの」の一であり、第五位は「生活指導を含むもの」の一、第六位は「製本のていねいで長持ちするもの」の五、第七位は「簡単な物語を含んだもの」の五、第八位は「生活に根ざしたもの」の四、第九位は「理解しやすいもの」の四、第十位は「実生活に根ざしつゝも豊かな夢を持つたもの」の四、第十一位は「内容に年令差をつける」の四と云うことになりました。けれども第二表の結果を考え合せますと、幼児に興味のあるものが最もよい繪本であると大多数の人が考えて居るとも解釈※

何となれば、幼児の特性から考えて、興味を基礎としない教育はなりたたいと云つても過言ではないからであります。そしてまた、一、の調査でもわかるように現場の先生方は幼児の興味ということを中心に考えております。従つて絵本についても教師がよいと考えた絵本が同時に子供にとつても好きな絵本でなければならぬ。そこで教師の見方と幼児の見方とが一致するかどうかという事は誰も知りたい事であると思ひます。けれどもこれを知ることには甚だ難しいこと、云わなければなりません。数冊の絵本の中からよい絵本を一冊選び出すことは、教師に取つても仲々むづかしい事であり、まして幼児についての調査は、長い時日を要し仲々困難な仕事であると云えましょう。それで、こゝでは便法として、絵本の中の個々の画面をとり出して、それによつて調査して見ました。勿論、絵本は何枚かの絵が組合され、綜合されて其の価値が判断されるもので、個々の絵を単独に取り出して評価しても絵本の評価にはならないことは云うまでもありません。けれども此の調査の意図は、教師と幼児との見方の一致不一致を、絵本を手がかりとして知るにあるの

第四表

繪本の号 男女別	O		I		P		Q	
	男	女	男	女	男	女	男	女
保育別 二年保育 二年保育	1	2	3	7	0	3	4	6
一年保育	4	11	8	15	1	8	11	18
二年保育 一年	3	7	13	7	1	4	16	10
計(人員)	8	20	24	29	2	15	30	34
%	25%	41%	75%	59%	6%	31%	94%	69%
男女計 (人員)	28		53		17		64	
%	35%		65%		21%		79%	

ですから、便法としてやつて見ました。
☆
このやり方は、夫々異つた出版社から発行されて居る四冊の絵本(共に九月号)を皆ばらぐにして、二頁続きの一枚の絵とし、(一冊分が五枚になりますので二十枚出来たわけです。表紙は別にして加えない)これを一室に展示しました。そして先生方(前と同じ四五名)に、それ々自己の絵本に対する考え方を基準として、一番よい絵と最も好ま

しくない絵とを選出してもらいました。
一方幼児の調査は、千葉大学教育部附属幼稚園の園児八一名について行いました。先ず先生方が一番よいと評価した絵(O)と、一番好ましくない絵(I)とをならべて、どちらが好きな絵であるかを問ひ、次に二番目によいと云つた絵(P)と、二番目に悪いといつた絵(Q)とをならべて。これも同様に調査して見ましたら次の通り(第四表)の結果が出ました。

☆
此の表によつて見ますと、教師が最もよい絵であると判定した絵(O)を好きだという幼児は、男子では三二名中八名(二五%)、女子は四九名中二〇名(四一%)でした。

これに対し、教師が最も好ましくないと判断した絵(I)の方を好きだと答えた幼児は、男子三二名中二四名(七五%)、女子四九名中二九名(六九%)となつて居ります。次に教師が二番目によいと云つた絵(P)と二番目に悪いと云つた絵(Q)とについては、教師と同じもの男子三二名中わずかに二名(六%)、女子四

九名中一五名(三二%)でした。

此の限られた、そして特殊な調査の結果から、一般的な結論を導き出すことは甚だ危険でありますし、また不可能な事であつて、その様な事をくわだててすることは取るべき態度ではないと考えられます。けれども私はあえて次の二つのことがらを問題として、こゝに提出して見ました。

(1) 絵に対する教師の好みと、幼児の好みとは一致しないでむしろ反対であります。この事實は、たとい先生方に、幼児の好む絵を選んでもらつたわけではないし、また幼児の態度の信頼度も考慮されなければならないとしても、一、の(二)と(三)に於ける調査に示された教師の絵木に対する考え方を考慮し、一方教師の見方に対する幼児の反対の見方が六五%と七九%と云う事實は、われわれに対して一つの問題を提供したものと解すべきではないでしょうか。

(2) 男子と女子とは異なることであります。即ち女子は教師の見方により近似し、男子はよりかけはなれています。女子が教師の見方と反対なものは五九%と六九%とであるに對し、男子は七五%と九四%という数字を示し

ています。これは現在の幼稚園の先生方に反省の資料を提供すると共に、幼稚園の先生は女子でなければならぬという社会通念や、幼児の家庭教育は母親まかせである日本の父親に對する子供達の暗黙の抗議であると受取ることが出来ないでしょうか。

☆

一人のいたづらつ子が、きれいな庭に這い込んで来ました。この庭は公園や、公園として解放された庭に似ては居りましたけれども、普通の公園など、違つて、誰でも入ることのできる庭ではありませんでした。それですからあまり荒されてはおりませんでしたし、模様替えもあまりされないようでした。けれども、雨や風には時々荒され、ついさき頃も颱風にあいました大修理をしなければならぬらしいようでした。その庭の中に池がありかたわらの立札には絵本の池と書いてありました。

子供は、その池の面があまり静なものですから、ついついたづら気を出して、かたわらの小石を拾つて池に投げ込みました。小石はボチャンと音をたて、小さな波紋を作りました。池の中の鯉や、鮒や、金魚等はこの時ど

うしたでしょうか。またその庭の管理人の人や、持主はこのことについてどう考えるでしょうか。

(二六・一〇・二八)